

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	社会教育・スポーツ振興課	現計画対応頁	P.32
基本目標	1 高齢者が自分らしく暮らせる地域づくり		
施策	(1) 地域社会への積極的な参加促進		
計画内容	<p>【①生涯学習活動の推進】</p> <p>○生涯学習活動に関する調査研究の充実 ○市や他の行政機関、民間各種団体等の実施する高齢者向け講座の情報提供</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<p>①高齢者大学 ②生涯学習講座</p>		
C 上記の概要	<p>①高齢者の生きがいを創造し、見識を高めるとともに、高齢者相互の親睦並びに世代間交流を深め、地域の活性化に貢献できる人材を育成することを目的として、学びの機会と仲間づくりを行う場を提供する。 ②地域性豊かなプログラムで、子どもから高齢者まで様々な世代の学びの機会を提供する。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有 (本計画における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>①高齢者大学学生数 【目標値】 1,250人 【結果】 1,106人 ②講座参加者数 【目標値】 17,500人 【結果】 16,067人</p>		
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	<p>・市や他団体が開催する各種講座を積極的に案内、受講者の増加に努める。関係各課と連携し、情報を共有することで幅広い活動の場を提供する。 ・学習内容や手法の見直しが必要である。 ・学習した成果を発揮する場の提供も求められている。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課 社会教育・スポーツ振興課	現計画対応頁	P.33
基本目標	1 高齢者が自分らしく暮らせる地域づくり		
施策	(1) 地域社会への積極的な参加促進		
計画内容	<p>【②世代間交流の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツやレクリエーションなどを通じた交流機会の創出</li> <li>○地域、小中学校区を核とした多様な交流事業、イベントを支援</li> <li>○町内会や高齢者組織、PTA、少年団などとの連携強化</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称			
①地域敬老事業 ②老人クラブ補助事業 ③世代間交流事業の支援			
C 上記の概要	<p>①町内会等が開催する敬老事業に対して経費の一部に対し補助金を助成する。 ②市内各地域の単位老人クラブと加古川市老人クラブ連合会の定められた事業に対する補助金を助成する。 ③青少年、壮年、高齢者の多世代が参加することで、地域の教育力向上及び絆を深め、ともに支えあう社会づくりに貢献することを目的とし、町内会単位に1万円、小学校単位に8万円の補助金を交付している。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>①地域敬老事業【目標値】令和2年度までに300団体に助成。 【結果】令和元年度は271団体と90%の達成率となっている。 ②老人クラブ補助事業 【目標値】令和2年度までに142団体に助成 【結果】令和元年度は121団体と85.2%の達成率となっている。 ③世代間交流学習会事業実施率(町内会) 【目標値】90.0% 【結果】81.0% 世代間交流学習会事業実施率(小学校区) 【目標値】100% 【結果】89.2%</p>		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	<p>①②地域で活動している団体を補助していくことで、世代間交流などの機会の創出を促すことに努める。 ③他の補助金との統合をふまえて他部署と調整し、より各地域の特色を活かした補助となるように検討する。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	社会教育・スポーツ振興課 ウェルネス推進課	現計画対応頁	P.33
基本目標	1 高齢者が自分らしく暮らせる地域づくり		
施策	(1) 地域社会への積極的な参加促進		
計画内容	【③文化スポーツ活動への参加促進】 ○市内で行われる各種イベントの情報提供や参加機会の充実 ○高齢者優待情報の把握と提供 ○高齢者の文化・芸術活動の支援 ○気軽に楽しめるニュースポーツなどの普及促進		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	・町内会や高齢者大学等へのスポーツ用具の貸出し及びニュースポーツの指導派遣 ・公民館への各種イベントの情報提供		
C 上記の概要	・スポーツに関心のある高齢者に対して、スポーツ用具の貸出しを行い、スポーツに親しめる機会を提供する。 また、様々なニュースポーツの普及を行うとともに、スポーツ推進委員会から指導者を派遣し、幅広くスポーツに親しむ機会を提供する。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	スポーツを取り巻く状況が変化していくなかで、市民のニーズに合わせた取組を続けていく必要がある。 情報把握や周知に努め、参加の機会を提供していく。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	介護保険課 生活福祉課	現計画対応頁	P. 34
基本目標	1 高齢者が自分らしく暮らせる地域づくり		
施策	(1) 地域社会への積極的な参加促進		
計画内容	<p>【④雇用・就労相談への支援】</p> <p>○ハローワークとの連携等、高齢者の職業相談窓口の充実 ○「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の趣旨に則った制度の普及啓発</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<p>①就労を希望する高齢者等をハローワークへ案内 ②無料職業紹介事業 ③市庁舎内にハローワークコーナーを設置</p>		
C 上記の概要	<p>①就労を希望する高齢者等をハローワークへ案内し、履歴書の記入方法などをアドバイスする。 ②「加古川市無料職業紹介事業実施要綱」を制定。 ③平成30年11月から市庁舎内介護保険課横にハローワークによる介護事業所への就労に関する情報コーナーを設置している。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	<p>・「加古川市無料職業紹介事業実施要綱」に基づき、事業所ニーズや生活困窮者の状態等を踏まえ、職業紹介を行う。 ・雇用、就労相談など勤労の意欲のある高齢者に適宜就労の機会を提供できるよう、情報収集に努める。 ・引き続き、ハローワークとの連携を行いながら就労に関する情報を提供していく。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P. 35
基本目標	1 高齢者が自分らしく暮らせる地域づくり		
施策	(2) 介護予防や健康づくりへの支援		
計画内容	<p>【①健康づくり活動への支援】</p> <p>○健康に関する情報提供 ○専門職の派遣等の支援</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	介護予防普及啓発事業		
C 上記の概要	<p>①住民主体の介護予防活動(いきいき百歳体操)の普及のための体験会開催。 ②地域の高齢者サロンにて、専門職(保健師・看護師・健康運動実践指導者・栄養士・歯科衛生士等)が健康教育や健康相談を実施。(健康教育:568回、12,546人 健康相談:477回、6,785人)</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(本計画における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【結果】</p> <p>①いきいき百歳体操体験会 31団体、608人 ②高齢者サロン 191団体、専門職派遣 596回、対象高齢者 のべ13,217人</p>		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	引き続き事業を継続するが、いきいき百歳体操未実施地域には積極的に勧奨する。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P. 35
基本目標	1 高齢者が自分らしく暮らせる地域づくり		
施策	(2) 介護予防や健康づくりへの支援		
計画内容	<p>【②自発的な介護予防活動への支援】</p> <p>○介護予防に関する自主活動への支援          ○介護予防に関する自主活動についての情報提供          ○自主活動する団体の後継者等の育成支援</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	地域介護予防活動支援事業		
C 上記の概要	<p>平成26年度より地域の身近な場所で住民主体の介護予防活動(いきいき百歳体操)の立上げ支援・継続支援を実施。          いきいき百歳体操サポーター養成講座を5回1コースとし6会場で実施。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(本計画における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【目標値】          いきいき百歳体操：200団体、登録者数4,000人(令和2年度末累計)          いきいき百歳体操サポーター養成講座：30回、のべ550人、修了者100人。          2020年度末累計修了者600人。</p> <p>【結果】          ①いきいき百歳体操活動状況：154会場、164団体、登録者4,385人          ②いきいき百歳体操活動支援事業：388回、6,818人          ③いきいき百歳体操サポーター養成講座：27回、のべ529人、修了者86人、累計修了者465人          ④いきいき百歳体操交流会：0回          ⑤地域高齢者サロン代表者研修会：7回 358人</p>		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	<p>引き続き、いきいき百歳体操新規会場の開設支援に努める。          令和2年度より、いきいき百歳体操サポーター養成講座の内容を見直し実施する。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.36
基本目標	1 高齢者が自分らしく暮らせる地域づくり		
施策	(2) 介護予防や健康づくりへの支援		
計画内容	<p>【③介護予防の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○介護予防に関する普及啓発</li> <li>○介護予防の集いの場の充実</li> <li>○支援を必要とする人の把握・支援</li> <li>○口腔機能向上や低栄養防止に係る活動の推進</li> <li>○理学療法士等のリハビリテーション専門職との連携</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	介護予防把握事業 介護予防普及啓発事業 一般介護予防事業評価事業 地域リハビリテーション活動支援事業		
C 上記の概要	地域包括支援センターや民生委員等と連携し、閉じこもり等の支援を必要とする人を把握し、住民主体の通いの場へつなげている。 理学療法士・歯科衛生士・栄養士等と連携し、フレイル対策を実施している。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	随時、介護予防・重度化防止を図るため、PDCAサイクルに基づき事業評価を実施し、全体を改善しながら、事業の継続・拡大に努める。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	生活安全課 高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P. 38
基本目標	2 高齢者を互いに支えあう地域づくり		
施策	(1) 高齢者の見守り体制の構築		
計画内容	<p>【①見守りネットワークの構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○民間事業者との見守り協定の推進</li> <li>○地域における支え合い体制の構築</li> <li>○見守りカメラと見守りサービスの推進</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称			
	①ICTを活用した安全・安心のまちづくり推進事業 ②加古川市地域見守り活動 ③ささえあい協議会の設置		
C 上記の概要	①見守りサービスの活用方法を検討するため、庁内関係課会議を行った。 また、令和2年度において介護保険事業特別会計により予算措置し、見守りタグの初期費用と月額利用料を全額補助することで、利用者拡大を図ることとなった(予算主管課：高齢者・地域福祉課)。 ②市と見守り活動を実施する協力事業者が連携して、地域で孤立しがちな環境にある一人暮らしの高齢者及び高齢者のみで構成される世帯を対象とし、日常的、重層的に見守る。 ③地域の様々な団体等による生活支援や連携体制に取り組み、地域における支え合いのまちづくりを構築するため、各中学校区(12地区)に「ささえあい協議会」の設置を進める。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(本計画における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	①見守りタグ利用者：54人 令和2年度 介護保険事業特別会計で予算積算(負担金) ③氷丘・別府(平成29～) 志方・両荘(平成30～) 平岡・野口(平成31～) 計6地区活動中。 加古川・尾上(令和2年度立ち上げ後、活動) 1地区で年間3～4回協議会を開催している。		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	①見守りサービスの効果的な活用について引き続き検討し、利用者の拡大を図る。 ②引き続き民間事業者との見守り協定の推進に努める。 ③引き続き協議会の設置を進めていく。2022年度末までに全中学校区(12地区)にささえあい協議会の設置を目指す。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.39
基本目標	2 高齢者を互いに支えあう地域づくり		
施策	(1) 高齢者の見守り体制の構築		
計画内容	【②要援護高齢者宅への訪問活動の実施】 ○高齢者実態調査の実施		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	高齢者実態調査の実施		
C 上記の概要	・市内70歳以上の高齢者に対し、民生委員が緊急連絡先などの実態を把握するために訪問している。 ・独居、高齢者のみ世帯や認知症、寝たきりなどの状態を確認することで緊急時の対応に備える。 ・消防本部の司令システム地図上に本事業で得た情報を可視化させることで緊急時の迅速な対応に繋げている。 ・危機管理課所管の「非難行動要支援者名簿作成業務」に役立っている。 ・高齢者虐待連絡や警察等からの緊急時連絡があった際に本業務で得た情報を参考にしている。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	引き続き事業を実施し、有事の対応に備える。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P. 39
基本目標	2 高齢者を互いに支えあう地域づくり		
施策	(1) 高齢者の見守り体制の構築		
計画内容	<p>【③緊急通報システム事業の充実】</p> <p>○次期システムの調査、研究          ○システム利用者へのニーズ調査          ○利用要件についての調査、研究</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	緊急通報システム事業		
C 上記の概要	<p>他システムとの比較を行い、見守り体制、コスト面、財政面のメリット・デメリットを整理した。</p> <p>ニーズ調査から、利用要件の洗い出しを行い、仕様の見直しとシステムの再構築を行った。</p> <p>具体的には、近隣協力員の3名確保が難しいとの声が多くなってきていることから、民間警備員の活用を導入予定である。</p> <p>また、利用者の安心感につながるように、委託先コールセンターに滞在する看護師等から見守り電話として月に一度、電話により身体状況及び生活状況の把握、相談業務を行う予定である。</p> <p>なお、介護保険制度を活用することにより、利用者負担は従前からの変更は一切ない状態を維持する。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【目標値】          緊急通報システム家庭用機器設置台数：580台設置(令和2年度末)</p> <p>【結果】          457台(令和元年度末)</p>		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	仕様の見直しを図り、2市2町での共同事業の在り方について検討、本市の方針を決定した。引き続きニーズに合ったシステムの構築に努める。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P. 40
基本目標	2 高齢者を互いに支えあう地域づくり		
施策	(1) 高齢者の見守り体制の構築		
計画内容	<p>【④地域ぐるみの見守り事業への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小地域福祉活動への支援</li> <li>○ふれあい・いきいきサロン事業への支援</li> <li>○ヘルプカードの周知</li> <li>○一人暮らし等高齢者見守り活動事業への補助</li> <li>○社会福祉協議会、老人クラブ等の地域団体が実施している事業への支援</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称			
	①一人暮らし等高齢者見守り活動事業への補助 ②老人クラブ補助事業 ③社会福祉一般事業補助金		
C 上記の概要			
	①高齢者が相互に支援できる体制を確立し、生きがい作りを推進する。 ②市内各地域の単位老人クラブと加古川市老人クラブ連合会の定められた事業に対する補助金を助成する。 ③小地域ネットワーク(見守り体制)づくり事業を行う社会福祉協議会の各種事業への補助を行う。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無			有(事務事業評価等における目標値・指標)
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
	②老人クラブ補助事業 【目標値】142団体(令和2年度末) 【結果】令和元年度は121団体と85.2%の達成率となっている。 ③ふれあいサロン実施団体 【目標値】210団体(令和2年度末) 【結果】209団体(平成30年度末)		
F 自己評価(○/△/×)			△
G 今後の方針			
	①地域で活動している団体を補助していくことで、活性化を図り、既存の見守り事業の充実に努める。 ③地域福祉を推進する中心的な組織である社会福祉協議会への支援を引き続き行う。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P. 41
基本目標	2 高齢者を互いに支えあう地域づくり		
施策	(2) 生活支援サービスの充実		
計画内容	<p>【①生活支援サービスシステムの整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の高齢者支援のニーズや社会資源の状況把握</li> <li>○NPOや民間企業など多様な関係機関とのネットワークの構築</li> <li>○生活支援コーディネーター配置の推進</li> <li>○ポイント制度等の活用検討</li> <li>○シニアサポート事業の立ち上げ</li> <li>○介護予防・生活支援サービス事業の普及啓発</li> <li>○地域での生活支援の体制を検討する「ささえあい協議会」(第2層協議体)の運営の支援</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	生活支援サービス体制整備事業		
C 上記の概要	生活支援コーディネーターは、地域の支え合いの仕組みづくりの推進役として、地域で不足するサービスの創出や担い手の育成・支援を行い、地域のネットワークの構築を進める。また、ささえあい協議会の中心的役割を担う。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(本計画における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年6月に生活支援コーディネーターを6名配置</li> <li>・「ささえあい協議会」を12中学校区中6校区に設置</li> </ul>		
F 自己評価(○/△/×)			△
G 今後の方針	「ささえあい協議会」は令和4年度までに概ね中学校区ごとに設置完了予定である。引き続き生活支援コーディネーターが中心となり、高齢者支援のニーズと地域資源をマッチングする仕組みづくりをすすめていく。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.42
基本目標	2 高齢者を互いに支えあう地域づくり		
施策	(2) 生活支援サービスの充実		
計画内容	<p>【②地域組織などの運営支援・連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○町内会や老人クラブなどの運営支援及び連携強化</li> <li>○民生委員・児童委員との連携強化</li> <li>○地域組織への福祉制度に関する研修機会の提供や情報提供</li> <li>○理学療法士等の専門職による活動支援の基盤づくり</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	生活支援サービス体制整備事業		
C 上記の概要	生活支援コーディネーター及びささえあい協議会により、地域の支えあいの仕組みづくりを推進し、生活支援体制の充実・強化を図る。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	氷丘・別府(平成29～) 志方・両荘(平成30～) 平岡・野口(平成31～) 計6地区活動中。 加古川・尾上(令和2年度立ち上げ後、活動予定) 1地区で年間3～4回協議会を開催している。		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	引き続き協議会の設置を進めていく。2022年度末までに全中学校区(12地区)にささえあい協議会の設置を目指す。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.42
基本目標	2 高齢者を互いに支えあう地域づくり		
施策	(3) 地域での多様な活動機会の提供		
計画内容	<p>【①地域活動の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域活動の場や仕組みの検討</li> <li>○多様化した高齢者ニーズに対応した老人クラブ活動の支援</li> <li>○地域敬老事業への支援</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<p>①地域敬老事業</p> <p>②老人クラブ補助事業</p>		
C 上記の概要	<p>①町内会等が開催する敬老事業に対して経費の一部に対し補助金を助成する。</p> <p>②市内各地域の単位老人クラブと加古川市老人クラブ連合会の定められた事業に対する補助金を助成する。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>①敬老祝品・表敬訪問事業</p> <p>【目標値】300団体(令和2年度)に助成。</p> <p>【結果】271団体(令和元年度)</p> <p>②老人クラブ補助事業</p> <p>【目標値】142団体(令和2年度末)に助成。</p> <p>【結果】121団体(令和元年度末)</p>		
F 自己評価(○/△/×)			△
G 今後の方針	<p>地域で活動している団体を補助していくことで、活発な地域活動の推進に努める。</p> <p>引き続き、地域の多様な関係主体間の情報共有及び連携・協働を推進していく。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.43
基本目標	2 高齢者を互いに支えあう地域づくり		
施策	(3) 地域での多様な活動機会の提供		
計画内容	<p>【②生きがい対策事業の効果的な実施】</p> <p>○事業への市民・高齢者の声の反映と調査、研究 ○福祉バスの利用支援</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<p>①敬老祝品・表敬訪問事業 ②福祉バス運行事業</p>		
C 上記の概要	<p>①市内最高齢者及び満100歳を迎える者を訪問し、表敬する。90歳及び100歳を迎える者に記念品を贈呈する。 ②高齢者や障がい者の団体が外出する際にバスを貸し出し、福祉の充実を図る。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>①敬老祝品・表敬訪問事業 【目標値】770人に贈呈。(令和2年度末までに) 【結果】862人(令和元年度) ②福祉バス運行事業 【目標値】高齢者参加者数5,200人。障がい者利用者数700人。(令和2年度末までに) 【結果】高齢者利用者4,478人。障がい者利用者560人。(令和元年度)</p>		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	<p>①高齢者人口の増加に伴い、対象者数が増加している。今後の事業のあり方について検討を重ねていく。 ②福祉バスの老朽化が進んでいるため、今後の事業のあり方について検討を重ねる。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	都市計画課	現計画対応頁	P.44
基本目標	2 高齢者を互いに支えあう地域づくり		
施策	(3) 地域での多様な活動機会の提供		
計画内容	<p>【③外出支援の充実】</p> <p>○誰もが移動しやすいまちづくりを目指した交通整備の検討</p> <p>○高齢者の運転免許証返納に伴う外出支援策の調査、研究</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	令和2年4月運行開始のかこバスミニ・志方地区の路線再編、平荘地区ルートの運行開始準備		
C 上記の概要	<p>①山手地区において、高齢者をはじめとする交通弱者の移動手段確保を目的として、地域内をきめ細やかに運行する「かこバスミニ・山手ルート」を平成30年4月から運行を開始した。</p> <p>②志方地区・平荘地区においては高齢化が進展しており、交通弱者の日常生活における移動手段の確保を目的として、路線バスを必要とするほどの乗車人数が見込めないなか、利用状況に応じたかこバスミニ路線への転換を図り、地域内をきめ細やかに運行する路線へ再編し令和2年4月から運行を開始する。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	<p>・令和2年度より、神姫バスのICカード乗車券を利用し市内の停留所で乗降した場合に、運賃の上限が200円になる事業を開始。</p> <p>・市南部地域においては、かこバスのルートを見直し、新たなルートでの運行を計画している。</p> <p>・住居が点在し、路線型の公共交通導入が困難な地域における高齢者等の移動手段確保策として、デマンドタクシーの有効性を検証するため、八幡町において実証実験を実施する予定。</p> <p>・今後も公共交通不便地域の解消を図るため、新たなコミュニティ交通の導入を検討していく。</p> <p>・交通整備及び高齢者の運転免許証返納に伴う外出支援策の調査、研究を重ねる。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課 介護保険課	現計画対応頁	P. 46
基本目標	3 介護保険事業の円滑な管理運営		
施策	(1) 介護サービス基盤等の整備		
計画内容	<p>【①介護サービス基盤等の整備】</p> <p>○高齢者数の増加、医療からの移行、介護離職防止等に対応した計画的な基盤整備          ○施設等の安全性向上を図る事業の実施          ○在宅生活を支える事業者へのインセンティブ付与の検討          ○共生型サービス提供のための支援          ※介護サービス基盤等整備量は別表</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービス基盤の計画に則った整備</li> <li>・介護サービス事業者公募の実施</li> </ul> <p>【関連事業】          社会福祉施設等整備補助事業          ・事業者に対する介護報酬における独自加算の実施</p>		
C 上記の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの生活環境や心身の状況に応じて住み慣れた地域で過ごすことができるようにするとともに、介護者の負担軽減や介護離職防止のために、在宅系サービスと施設・居住系サービスについて、バランスよく提供できるよう整備を進めた。</li> <li>・事業者の参入促進を図るために、企画・財政部局との調整を行い、新事業の翌年度予算を確保した。</li> <li>・独自加算の実施に向けて、事業者に対して周知を行い、10月から実施した。</li> <li>・軽費老人ホームの整備事業者を公募し、計画に則った整備を促す。</li> </ul>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有 (本計画における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【目標値】 令和2年度末までに軽費老人ホーム30床の整備。          【結果】 令和元年度には整備希望事業者はなかった。          別表①のとおり</p>		
F 自己評価 (○/△/×)			△
G 今後の方針	<p>令和2年度も引き続き整備事業者を募り、同時に適切にニーズを捉え、適正な整備量の確保に努める。          施設整備について、株式会社等を補助対象に追加し、事業への参入促進を図る。          定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業について、参入を促進するために人件費補助や賃借料補助を実施する。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	介護保険課	現計画対応頁	P. 48
基本目標	3 介護保険事業の円滑な管理運営		
施策	(2) 介護サービスの適正な実施		
計画内容	<p>【①介護サービスの質の確保・向上】</p> <p>○利用者にとって分かりやすい手段・内容による介護サービス情報の周知          ○介護サービス事業者の情報開示（「介護サービス情報公表システム」の周知等）          ○相談対応・解決のための体制</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険ガイドブックの発行</li> <li>・神戸新聞に介護に関する記事を掲載</li> <li>・介護サービス情報公表システムの市ホームページ掲載</li> </ul>		
C 上記の概要	<p>・介護保険ガイドブックを発行・市ホームページに掲載することや、5月から6月にかけて神戸新聞に介護に関する記事を掲載することで、介護保険制度の趣旨の理解及び普及に努めた。</p> <p>・厚生労働省が公表している、全国約21万か所の介護サービス事業所の情報にアクセスできるように、市ホームページにリンクを貼っている。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	引き続き、わかりやすいガイドブックの作成に努め、介護保険制度の周知を図る。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	介護保険課	現計画対応頁	P. 48
基本目標	3 介護保険事業の円滑な管理運営		
施策	(2) 介護サービスの適正な実施		
計画内容	<p>【②要介護認定と介護保険給付費等の適正化】</p> <p>○要介護認定の適正化          ○ケアマネジメント及び介護サービス提供体制の適正化（ケアプランの点検）          ○介護報酬請求の適正化（介護給付費通知）</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<p>①要介護認定の適正化          ②ケアプラン点検の実施          ③給付費通知</p>		
C 上記の概要	<p>①市職員が認定調査票全件の点検を行うことにより、認定調査の平準化を図った。          ②事業所の介護支援専門員に対して、実際のケアプラン点検を実施し、結果等について居宅介護支援事業所やサービス提供事業所と共有化した。          ③介護サービス等利用者に、利用したサービスの種類とその費用額を記載した通知を送付し、利用者が確認することにより、適正な請求に向けた抑制効果を図った。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有 (本計画における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>(1) 要介護認定の適正化          【目標値】 全件          【結果】 平成30年度：全件（9,418件）、令和元年度：全件（12,507件）</p> <p>(2) ケアプラン点検の実施          【目標値】 50件          【結果】 平成30年度：50件、令和元年度：56件</p> <p>(3) 給付費通知          【目標値】 全件          【結果】 平成30年度：全件（10,751件）、令和元年度：全件（11,495件）</p>		
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	<p>①今後も継続していく。          ②引き続き効果的にケアプラン点検を行い、事業効果の拡充を図る。          ③今後も継続していく。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課 介護保険課	現計画対応頁	P.49
基本目標	3 介護保険事業の円滑な管理運営		
施策	(2) 介護サービスの適正な実施		
計画内容	<p>【③介護サービス事業者への指導・監督等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○介護サービス事業者への適切な指導・監査の実施</li> <li>○運営推進会議への出席</li> <li>○指導・監督を行うための専門性の高い知識を持った職員の確保・育成</li> </ul>		
A	計画内容の実施の有無	有	
B	(Aが有の場合) 主な活動・事業名称		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービス事業者への実地指導及び集団指導の実施</li> <li>・運営推進会議へ出席し、事業者との連携に努めた。</li> </ul>		
C	上記の概要		
	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型サービス事業者を対象に集団指導を1回実施。</li> <li>・実地指導を地域密着型サービス事業者に24件、居宅介護支援事業者へ10件実施。</li> <li>・運営推進会議へ207回(出席率63.1%)出席。</li> </ul> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業の事業者を対象に集団指導を1回実施。</li> <li>・実地指導を地域密着型サービス事業者に26件、居宅介護支援事業者へ7件実施。</li> <li>・運営推進会議へ126回(出席率70.0%)出席。</li> </ul>		
D	(Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)	
E	(Dが有の場合) 目標達成状況		
	<p>実地指導件数</p> <p>【目標値】28件以上</p> <p>【結果】平成30年度 34件 令和元年度 34件</p>		
F	自己評価(○/△/×)	△	
G	今後の方針		
	指導・監督を行うための専門性の高い知識を持った職員の確保について検討を行う。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P. 51
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(1) 地域包括ケアの深化・推進、連携の強化		
計画内容	<p>【①地域包括支援センターの機能の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括支援センターの人員体制の強化</li> <li>○医療、介護、民生委員・児童委員、地域団体との連携強化</li> <li>○認知症施策のさらなる推進</li> <li>○生活支援体制との連携</li> <li>○地域ケア会議による地域課題の抽出、分析及び対応の検討</li> <li>○センター間の役割分担・連携を強化</li> <li>○個人や世帯の抱える複合的な生活上の課題に対応する相談支援体制の構築</li> <li>○自立支援・介護予防の推進</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	包括的支援事業(地域包括支援センターの運営) 地域包括支援センター運営管理事業 ・ささえあい協議会の設置 ・自立マネジメント会議の開催 ・医療・介護関係者への研修の実施		
C 上記の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の方が住み慣れた地域でいつまでもいきいきと生活できるよう、相談業務を行う。相談件数も年々増加しており、徐々に地域に周知され、地域福祉の拠点となっている。</li> <li>・高齢者の方が住み慣れた地域でいつまでもいきいきと生活できるよう、相談業務の他、権利擁護事業、介護予防事業、家族介護支援、ケアマネジャーの支援等を実施している。相談件数も年々増加しており、徐々に地域に周知され、地域福祉の拠点となっている。</li> <li>・地域の様々な団体等による生活支援や連携体制に取り組み、地域における支え合いのまちづくりを構築するため、各中学校区(12地区)に「ささえあい協議会」の設置を進める。</li> <li>・自立支援を重視したケアプランやその支援方法を多職種と連携し、検討する。</li> <li>・医療・介護関係の多職種を対象とした研修を実施する。</li> </ul>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無			有(本計画における目標値・指標)
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターにおける令和元年度相談件数33,779件 うち、認知症相談件数3,863件</li> <li>・氷丘・別府(平成29～)志方・両荘(平成30～) 平岡・野口(平成31～)計6地区活動中。加古川・尾上(令和2年度立ち上げ後活動予定) 1地区で年間3～4回協議会を開催</li> <li>・令和元年度18回36事例実施(自立支援マネジメント会議)</li> <li>・令和元年度3回実施(在宅医療・介護連携研修会)</li> </ul>		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	高齢者が抱える問題が複雑多様化し、相談件数も大幅に増加していることから、配置職員の増員や相談連携体制など、センター機能の充実を図る。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P. 52
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(1) 地域包括ケアの深化・推進、連携の強化		
計画内容	<p>【②医療・介護連携の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療と介護の連携における拠点づくり</li> <li>○連携における課題やサービス資源の抽出</li> <li>○二次医療圏域内での行政間の連携</li> <li>○在宅医療・介護連携による切れ目ない支援の実施</li> <li>○終末期における在宅看取りについて、調査研究、事業者及び市民への啓発</li> <li>○県の支援のもと、在宅医療の実施に係る体制の整備の検討、関係専門職の人材の確保・養成の推進</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	在宅医療・介護連携推進事業		
C 上記の概要	医療・介護関係者の情報共有を図るとともに、在宅医療・介護連携に関する連携及び相談支援並びに医療・介護関係者の研修を実施することで、在宅医療・介護連携を円滑に実施する。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(本計画における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療・介護連携推進会議は、1市2町で実施しており令和元年度は2回(9/26、2/18)実施。</li> <li>・専門職に対して研修会を実施し、令和元年度は3回(7/18、10/8、1/21)行った。</li> <li>・かこリンク相談件数は令和元年度は84件。</li> </ul>		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制構築を進めていく。</li> <li>・市民に対して在宅看取りやアドバンス・ケア・プランニング(ACP)など在宅医療・介護連携の理解を深めるために引き続き検討を行う。</li> </ul>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P. 52
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(1) 地域包括ケアの深化・推進、連携の強化		
計画内容	<p>【③地域ケア会議の充実】</p> <p>○多職種連携による地域ケア会議の実施（地域課題の発掘、課題解決に向けた施策の展開）</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	地域ケア会議運営事業		
C 上記の概要	<p>・地域包括ケアシステム実現のため、地域の实情に沿って、地域資源をどのように構築していくか、課題を把握し、解決していく手段を導き出すための会議で、専門職に加え民生児童委員、地域住民等の多職種で行う。</p> <p>・要支援認定者及び事業対象者を対象として、自立支援に向けたマネジメントを実施するためにリハ職等の専門職の参加による地域ケア会議を実施する。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有（本計画における目標値・指標）		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>令和元年度は地域包括ケア推進会議を2回（10/10、2/21）実施</p> <p>自立支援マネジメント会議は36回開催</p> <p>地域ケアネットワーク会議3回</p> <p>地域ケア個別会議46回</p>		
F 自己評価（○/△/×）			○
G 今後の方針	地域ケア個別会議で把握した地域の課題を抽出し、地域包括ケア推進会議において効果的に協議し、施策に繋げていく。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P. 53
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(1) 地域包括ケアの深化・推進、連携の強化		
計画内容	【④ICT等を活用した医療と介護の情報連携の充実】 ○要介護者に関する情報の共有化及び各機関の連携		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	在宅医療・介護連携推進事業		
C 上記の概要	・医療・介護関係の多職種を対象とした研修を実施する。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(本計画における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	在宅医療・介護連携研修会において、情報共有ツールの活用事例発表を行った。 (平成31年1月24日、令和2年1月21日実施)		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	引き続き多職種向けの研修会等において、情報共有ツールの普及啓発を行う。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.54
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(2) 認知症施策の推進		
計画内容	<p>【①認知症への理解を深めるための普及啓発】</p> <p>○認知症サポーターの養成支援 ○キャラバン・メイトの活動支援</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	認知症サポーター養成講座		
C 上記の概要	認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する人を養成する講座。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【目標値】 認知症サポーター数 累計30,000人(令和2年度末)</p> <p>【結果】 累計28,560人(令和元年度末) (令和元年度 2,061人受講)</p>		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	<p>・子どもの頃から、認知症の人を含む高齢者への理解を深めるため、小中学校で実施している認知症サポーター養成講座を引き続き実施する。</p> <p>・キャラバンメイトへフォローアップ研修を行い、スキルアップを図る。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.54
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(2) 認知症施策の推進		
計画内容	【②認知症の予防】 ○認知機能の低下の予防の取組に関する調査、研究		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	・認知症施策に関する取り組み状況調査等への協力 ・認知機能低下予防の取組支援		
C 上記の概要	・国・県が実施する認知症施策に関する取り組み状況調査 ・一般介護予防事業(いきいき百歳体操等)の推進		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	国等が実施する認知症予防に関する調査に協力する。 また、認知機能の低下に対して予防につながる可能性があるといわれている、一般介護予防の取り組みを支援する。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P. 55
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(2) 認知症施策の推進		
計画内容	<p>【③早期発見、早期受診、早期ケア体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症早期発見の体制づくり</li> <li>○認知症初期集中支援チームによる支援の実施</li> <li>○認知症サポート医による認知症相談医への支援</li> <li>○認知症の診断を受けた人やその家族向けの認知症教室の開催支援</li> <li>○認知症の症状や発症予防、軽度認知障害に関する知識の普及啓発</li> <li>○「認知症ケアパス」の普及啓発</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳健康チェック</li> <li>・認知症初期集中支援チーム</li> <li>・東播認知症教室</li> <li>・認知症教室(地域包括支援センター)</li> <li>・介護予防講座</li> <li>・認知症イベント</li> </ul>		
C 上記の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳健康チェックシートを用いて看護師等が認知症のスクリーニング検査を実施。認知症の疑いありの人には、認知症相談医の受診案内を行い、受診結果が担当課に届く体制を整備。</li> <li>・認知症初期集中支援チームは複数の専門職が、認知症(疑い含む)の人や家族を訪問し、初期の支援を包括的・集中的に行い、自立支援のサポートを行っている。</li> <li>・認知症教室では、診断された本人及び家族、認知症について学びたい人を対象に、医師等の講義と専門スタッフによる相談会を開催。</li> <li>・認知症に関する知識の普及啓発のため、ガイドブックの配布や講座、イベントを開催。</li> </ul>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無			有(事務事業評価等における目標値・指標)
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【目標値】</p> <p>脳健康チェック後、医療機関受診数 令和2年度 50人</p> <p>【結果】</p> <p>脳健康チェック後、医療機関受診数 平成30年度 17人 令和元年度 38人</p>		
F 自己評価(○/△/×)			△
G 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳健康チェックの結果、認知症の疑いがあっても医療機関を受診しない人も多い。受診勧奨とあわせて、予防活動や今後の相談先案内等の相談業務にも重点を置く必要がある。</li> <li>・今後も関係機関、専門職との更なる連携を図り、「認知症ケアパス」の活用等により、早期介入・支援体制の充実を図る。</li> </ul>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P. 55
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(2) 認知症施策の推進		
計画内容	<p>【④認知症相談・支援体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症地域支援推進員の複数配置を検討</li> <li>○専門職が対応する相談会や身近な地域での相談会の実施</li> <li>○認知症教室への支援</li> <li>○消費者トラブルに対する消費者行政窓口との連携</li> <li>○認知症疾患医療センター及び認知症相談医療機関との連携</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症相談員の配置</li> <li>・ 認知症地域支援推進員の配置</li> <li>・ 東播認知症教室 (相談会含む)</li> <li>・ 認知症教室 (地域包括支援センター)</li> <li>・ 東播認知症連携協議会</li> <li>・ 東播臨海地区認知症連絡会</li> </ul>		
C 上記の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者・地域福祉課に認知症相談員を、各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症に関する相談や支援体制の充実を図っている。</li> <li>・ 東播認知症連携協議会や東播臨海地区認知症連絡会等と協力し、地域での教室や相談会の開催、認知症に関する専門職種等の研修や情報交換等を行っている。</li> </ul>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有 (事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【目標値】</p> <p>相談件数 令和2年度 2,500件</p> <p>【結果】</p> <p>相談件数 平成30年度 4,021件 令和元年度 3,863件</p>		
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者人口の増加に伴い、認知症の相談件数も増加している。</li> <li>・ 複雑多様化する認知症の人の課題に対応できるよう、地域包括支援センターに配置している認知症地域支援推進員や認知症相談員、関係機関等と連携し、切れ目ない支援を行う。</li> </ul>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P. 56
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(2) 認知症施策の推進		
計画内容	<p>【⑤認知症の人や家族を支える地域づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症の人や家族の会及びサポーターの会などへの支援</li> <li>○認知症の人やその家族の居場所づくりへの支援</li> <li>○認知症施策の企画・立案等に認知症の人やその家族の参画を推進</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者のつどい</li> <li>・認知症の人と家族及びサポーターの会</li> <li>・認知症カフェ</li> </ul>		
C 上記の概要	<p>・認知症の人やその家族、地域の人、医療や介護の専門職など、誰もが気軽に集まり、認知症の悪化予防や相互交流、情報交換等を目的として参加できる活動拠点の設立運営を支援している。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の家族会等への支援を引き続き行う。</li> <li>・認知症の人やその家族の視点を重視した施策の展開を進めていく。</li> </ul>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.56
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(2) 認知症施策の推進		
計画内容	<p>【⑥認知症見守りネットワークの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症見守りネットワークの協力者・協力企業の拡充</li> <li>○警察をはじめとする関係機関との協力連携体制の強化</li> <li>○効率的、効果的な情報提供及び共有化についての検討</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症見守りSOSネットワーク</li> <li>・関係機関との連携協力</li> <li>・効果的な情報提供及び共有化</li> </ul>		
C 上記の概要	<p>・認知症などの病気により、行方不明になる可能性のある方などを、関係機関やネットワーク協力機関と連携し、日頃からの見守りや、行方不明になった場合に速やかに発見活動を開始する。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	<p>「認知症高齢者等の見守り・SOSネットワーク事業」は警察や消防とも連携し、事前登録者も増えてきた。しかし、警察からの情報提供も増加の一途で、認知症に関する支援の必要な人が多くなっており、関係機関の連携は今後ますます重要となる。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.57
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(2) 認知症施策の推進		
計画内容	<p>【⑦若年性認知症施策の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○若年性認知症の理解を深めるための普及啓発の実施</li> <li>○認知症相談センターの相談支援の資質の向上</li> <li>○若年性認知症の人や家族の居場所づくりの検討</li> <li>○若年性認知症の相談窓口の周知</li> <li>○若年性認知症の人や家族の会及びサポーターの会などへの支援</li> <li>○若年性認知症相談員の配置</li> <li>○医療、介護、就労支援などの関係機関や家族会と連携した支援体制の構築</li> <li>○ひょうご若年性認知症生活支援相談センターとの連携</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年性認知症の人や家族の会の周知及び活動支援</li> <li>・相談窓口の周知、相談員配置</li> </ul>		
C 上記の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症と診断されて間もない当事者と家族の話し合いや茶話会、悩み相談等を行うつどい場の周知や支援</li> <li>・認知症地域支援推進員や認知症相談員による個別相談、相談支援ガイドブックの配布、ひょうご若年性認知症支援センターの周知等</li> </ul>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			△
G 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年性認知症は働き盛りの現役世代で発症するため、経済的なことを含め多様な課題があるが、理解がすすんでいない現状もある。</li> <li>・若年性認知症に関する普及・啓発と共に、当事者及び家族へのきめ細かな相談や支援が必要である。</li> </ul>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.58
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(3) 介護者への支援の充実		
計画内容	<p>【①介護者のつどいの実施】</p> <p>○地域包括支援センターで介護者のつどいを実施 ○介護する家族の心理的な負担や孤立感の軽減</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	家族介護支援事業		
C 上記の概要	介護の知識・技術の習得や介護者同士の情報交換の場であり、介護をしている方の気持ちの負担を和らげる。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【結果】</p> <p>介護者のつどいの実施回数、参加者数 平成30年度 63回、639人 令和元年度 64回、720人</p>		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	引き続き事業を実施する。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.58
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(3) 介護者への支援の充実		
計画内容	【②介護用品の支給・貸与】 ○介護用品支給事業の実施 ○短期車いす貸与事業の実施		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	①介護用品支給事業 ②短期車いす貸与事業		
C 上記の概要	①在宅で生活している要介護状態の高齢者等を介護している家族等に対し、介護用品を支給することにより、要介護高齢者と介護している家族等の経済的負担を軽減し、もって要介護高齢者の在宅生活の継続を図り、高齢者福祉の増進に資する。 ②車いすを必要とする高齢者等に対し、一時的に車いすを貸与することにより、日常生活の便宜を図り、その福祉の増進に資する。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	①引き続き事業を実施する。国の動向を把握し、今後の事業方針について調査・研究を行う。 ②引き続き事業を実施する。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.59
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(4) 高齢者が安心して生活できる居住環境の整備		
計画内容	【①生活援助員(LSA)などによる見守り体制の充実】 ○生活援助員(LSA)の配置による高齢者住宅等安心確保事業の実施		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	高齢者住宅等安心確保事業		
C 上記の概要	対象集合住宅に生活相談員を派遣し、日常の見守りや生活相談等を実施する。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	引き続き事業を実施していく。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	介護保険課	現計画対応頁	P. 59
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(4) 高齢者が安心して生活できる居住環境の整備		
計画内容	<p>【②住宅改造への支援】</p> <p>○県補助金を活用した住宅改造費助成事業の実施 ○介護保険制度との一体的な活用支援</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	住宅改造費助成事業		
C 上記の概要	高齢者や障がい者が、住み慣れた住宅で安心して自立した生活を送ることができる住環境を整備するためバリアフリー化工事にかかる費用の一部を助成した。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>バリアフリー化率</p> <p>【目標】住宅・土地統計調査(5年に1度実施)における「一定のバリアフリー化率」65%</p> <p>【結果】43.3%(平成30年調査時点)</p>		
F 自己評価(○/△/×)			△
G 今後の方針	引き続き事業を実施すると共に周知・啓発を行い、必要な者が利用できるように努める。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.60
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(4) 高齢者が安心して生活できる居住環境の整備		
計画内容	<p>【③在宅福祉事業の実施】</p> <p>○訪問理美容サービスへの助成 ○養護老人ホームショートステイの実施 (介護保険サービスの短期入所サービスとは異なります。)</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<p>①訪問理美容利用助成事業 ②養護老人ホームショートステイ事業</p>		
C 上記の概要	<p>①外出困難な高齢者や障がい者に対し訪問理美容を行う際に、出張費に該当する金額を助成する。 ②高齢者及びその家族の福祉の向上を図るため、当該高齢者を一時的に養護する必要がある場合に養護老人ホームに短期間入所させる。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>①訪問理美容利用助成事業</p> <p>【目標値】 申請者数80人 利用件数150件(令和2年度末)</p> <p>【結果】 平成30年度 申請者数46人 利用件数91件 令和元年度 申請者数37人 利用件数66件</p>		
F 自己評価(○/△/×)			△
G 今後の方針	<p>①引き続き事業を実施すると共に周知・啓発を行い、必要な者が利用できるように努める。 ②引き続き事業を実施し、一時的な生活の場所を提供することで、その後の生活の安定に繋げる。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	住宅施策課 高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.60
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(4) 高齢者が安心して生活できる居住環境の整備		
計画内容	<p>【④住まいの確保】</p> <p>○「加古川市住生活基本計画」、「加古川市公営住宅等長寿命化計画」などによる高齢者等対応仕様の住宅整備の促進</p> <p>○生活支援ハウスの提供</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称			
	<p>①土山市営住宅整備事業</p> <p>②住宅維持補修事業</p> <p>③加古川市生活支援ハウス運営事業</p>		
C 上記の概要			
	<p>①土山住宅にエレベーターを設置するため、工事設計を行った。</p> <p>②市営住宅の空き住戸修繕の際に階段手すりの設置及び風呂場の段差軽減を行った。</p> <p>③高齢者に対し、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供するため、社会福祉法人に委託し、10床を設置。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無			有(事務事業評価等における目標値・指標)
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
	<p>③加古川市生活支援ハウス運営事業</p> <p>【目標値】年平均利用者数6人</p> <p>【結果】 5人</p>		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針			
	<p>①②「加古川市住生活基本計画」、「加古川市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、住宅のバリアフリー化を促進するとともに、市営住宅の計画修繕、改善に取り組む。また、「加古川市住宅確保要配慮者向け賃貸住宅供給促進計画」に基づき、高齢者等の住宅確保要配慮者向けの賃貸住宅の供給促進に取り組む。</p> <p>③公営住宅や養護老人ホームの入居待ちの一時的な待機や、虐待を受けた高齢者の緊急避難のための利用を目的として、今後も事業を継続する。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	危機管理課 高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.61
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(5) 高齢者が安全に暮らせる体制の推進		
計画内容	<p>【①防災・防犯対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習、訓練の機会の提供</li> <li>○避難行動要支援者名簿の作成及び地域の支援関係者への情報提供</li> <li>○福祉避難所の周知及び拡充</li> <li>○非常災害時における介護サービス事業者との連携方法の検討</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	防災及び災害関係事業		
C 上記の概要	<p>①市の総合防災訓練や津波一斉避難訓練、また消防本部が自主防災組織に訓練を実施した。                  ②「出前講座」で防災に関する啓発や福祉避難所の周知を図った。                  ③平成30年度に実施した避難行動要支援者への同意確認に基づき、情報提供同意者の名簿を整理し、各単位町内会へ情報提供を行った。また、令和元年11月時点において、新たに要件に該当することとなった人や、平成30年度に同意確認を行ったものの依然として意思確認の取れていない人を対象に同意確認を行った。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>防災訓練参加者                  【目標値】 5,700人                  【結果】 5,555人</p>		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	市民の安全安心な暮らしを維持し、自助・共助のより一層の普及啓発のためにも、引き続き、事業を継続予定。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	生活安全課	現計画対応頁	P.61
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(5) 高齢者が安全に暮らせる体制の推進		
計画内容	<p>【②交通安全対策の推進】</p> <p>○高齢者に配慮した安全意識の高揚 ○高齢者の運転免許証返納に対する支援の調査、研究</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	交通安全対策事業		
C 上記の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者と接する機会の多い地域包括の看護師部会で交通安全教室の実施について説明を行った。</li> <li>・高齢者の交通事故撲滅に向けて警察と協議し、令和2年度に啓発チラシを作成し、市内で実施する啓発運動で配布することとなった。</li> <li>・県内市町での免許返納件数と特典について調査を行った。</li> </ul>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(本計画における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【目標】 高齢者の交通事故死者数を0にする。</p> <p>【結果】 高齢者死者数 平成30年(1~12月) 5人 平成31年(1~12月) 5人</p>		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察等と連携し、高齢者の交通事故撲滅に向けて事業を継続する。</li> <li>・様々な機会を捉え、高齢者の交通安全教室の実施について広く周知し、教室の実施回数を増やす。</li> <li>・高齢者の免許返納については、引き続き調査・研究を行うとともに、特典について広く周知する。</li> </ul>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.62
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(6) 高齢者の権利を守る取組の推進		
計画内容	<p>【①高齢者虐待防止の推進】</p> <p>○関係団体との連携 ○虐待防止の普及啓発</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<p>各種団体と密に連携している。 虐待防止研修に参加したり、地域包括支援センターが虐待防止出前講座を実施。</p>		
C 上記の概要	<p>地域包括支援センターを始め、民生委員、社会福祉協議会等、関係団体と連携、マニュアルに沿って対応している。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	<p>今後も、虐待を受けた高齢者やその家族に対する適切な支援を行うために、市と地域包括支援センターが中心となり、虐待防止ネットワークの構築に取り組む。</p>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.63
基本目標	4 高齢者が安心して暮らせるしくみづくり		
施策	(6) 高齢者の権利を守る取組の推進		
計画内容	<p>【②成年後見制度の利用支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○成年後見制度利用促進基本計画に則った、制度の普及啓発と利用支援</li> <li>○権利を守るためのネットワークの構築</li> <li>○市民後見人の養成支援</li> <li>○(仮称)成年後見支援センターの設置に向けた調査、研究</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度利用支援事業</li> <li>・成年後見支援センターの設置</li> </ul>		
C 上記の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者及び高齢者で判断能力が低下している者の権利と財産を守るため、成年後見制度が利用できるように支援する。</li> <li>・成年後見センター開設に向けて、検討委員会を実施し、委員との意見交換の場を設け、情報を共有する。</li> </ul>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度が必要な者が利用できるように引き続き支援する。</li> <li>・成年後見支援センターを開設し、成年後見制度の利用促進に努め、権利擁護機能の充実に努める。</li> </ul>		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	介護保険課	現計画対応頁	P.64
基本目標	5 高齢者の明日を支える人づくり		
施策	(1) 本人や家族の知識向上・技能習得のための支援の充実		
計画内容	<p>【①介護サービスや地域資源などの情報提供の体制整備】</p> <p>○広報かこがわや加古川市ホームページなどの活用 ○介護保険ガイドブックなどのパンフレットの作成</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険ガイドブックの発行</li> <li>・介護サービス情報公表システムの市ホームページ掲載</li> </ul>		
C 上記の概要	<p>・介護保険ガイドブックを発行・市ホームページに掲載することで、介護保険制度の趣旨の理解及び普及に努める。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	引き続き、わかりやすいガイドブックの作成に努め、介護保険制度の周知を図る。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課 介護保険課	現計画対応頁	P.64
基本目標	5 高齢者の明日を支える人づくり		
施策	(1) 本人や家族の知識向上・技能習得のための支援の充実		
計画内容	<p>【②自分らしい生活が選択できる知識の普及啓発】</p> <p>○市民に向けた地域包括ケアシステムについての知識の普及          ○介護サービスや地域資源などの利用に関する知識の普及          ○高齢者サロンなど高齢者が集う場を活用し、健康管理などに関する知識の普及          ○自らが望む終末期の迎え方に関する知識の普及</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称			
	①生活支援サービス体制整備事業 ②在宅医療・介護連携推進事業		
C 上記の概要			
	①地域の町内会役員、民生児童委員等に対して地域包括ケアシステム構築の重要な事業として、生活支援サービスが提供できるように地域の現状を把握し、地域の課題を発見していき、その解決を協議する。 ②医療・介護関係者間の「顔の見える関係」を目指し、多職種対象の研修会を実施。また、一般住民対象の講演会を実施。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無			有(本計画における目標値・指標)
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
	②多職種を対象とした在宅医療・介護連携研修会の実施 【結果】平成30年度 3回 令和元年度 3回		
F 自己評価(○/△/×)			△
G 今後の方針			
	・様々な機会を通じ、高齢期における健康に関する知識の普及啓発のさらなる実施に努める。 ・引き続き、各関係機関・団体のニーズを取り入れながら、多職種対象の研修を実施していく。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	介護保険課 高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.65
基本目標	5 高齢者の明日を支える人づくり		
施策	(1) 本人や家族の知識向上・技能習得のための支援の充実		
計画内容	<p>【③自立支援のための知識や技術習得への支援】</p> <p>○介護に関する技術・知識や健康管理などを学ぶ家族介護講座の実施・拡充</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	地域介護人材創出事業		
C 上記の概要	<p>「知ってトクする 介護のコツ」という介護技術等を学ぶ講座を開催した。</p> <p>対象 市内在住か在勤の人</p> <p>日程 令和元年11月23日、12月7日 2回コース</p> <p>場所 兵庫大学</p> <p>参加者 21人</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有 (事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【目標値】</p> <p>講座受講者の累計人数 75人</p> <p>【結果】</p> <p>講座受講者の累計 55人 (平成30年度末)</p> <p>76人 (令和元年度末)</p>		
F 自己評価 (○/△/×)			○
G 今後の方針	今後も継続していく予定であるが、講座内容の見直しや事業のPR等を工夫していく必要がある。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.66
基本目標	5 高齢者の明日を支える人づくり		
施策	(2) ボランティア・NPOなどへの支援		
計画内容	<p>【①ボランティアの育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会福祉協議会、ボランティアセンターなどとの連携</li> <li>○高齢者の見守りなどにおけるボランティア活動への支援や積極的な参画への支援</li> <li>○高齢者ボランティアの啓発や研修機会の提供などの環境整備</li> <li>○介護予防事業サポーターの養成及び研修の開催</li> <li>○地域福祉リーダーの養成</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	生活支援サービス体制整備事業		
C 上記の概要	生活援助型訪問サービスの事業に従事する者や、高齢者の生活の支援を行うため必要な知識を身に付けたい者に対して、必要な技術及び知識等の習得を目的とした研修を実施。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【目標値】</p> <p>年間研修2回実施予定</p> <p>【結果】</p> <p>平成30年度 1回実施(22名修了)</p> <p>令和元年度 1回実施(21名修了)</p>		
F 自己評価(○/△/×)			△
G 今後の方針	専門職が不足する中で、介護人材の確保に向け、新たな担い手を育成できるよう、普及啓発を行い、応募者を増やしていく。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.67
基本目標	5 高齢者の明日を支える人づくり		
施策	(2) ボランティア・NPOなどへの支援		
計画内容	<p>【②シルバー人材センターの活動支援】</p> <p>○シルバー人材センターとの連携強化 ○会員数の増加や取り扱う職種の拡充を支援</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	生活支援サービス体制整備事業		
C 上記の概要	生活援助型訪問サービスの事業に従事する者や、高齢者の生活の支援を行うため必要な知識を身に付けたい者に対して、必要な技術及び知識等の習得を目的とした研修を実施。		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>【目標値】 年間研修2回実施予定</p> <p>【結果】 平成30年度 1回実施(22名修了) 令和元年度 1回実施(21名修了)</p>		
F 自己評価(○/△/×)			△
G 今後の方針	専門職が不足する中で、介護人材の確保に向け、新たな担い手を育成できるよう、普及啓発を行い、応募者を増やしていく。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課	現計画対応頁	P.67
基本目標	5 高齢者の明日を支える人づくり		
施策	(2) ボランティア・NPOなどへの支援		
計画内容	<p>【③NPOの活動支援】</p> <p>○NPO活動の基盤整備を支援</p>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	生活支援サービス体制整備事業		
C 上記の概要	<p>・志方町ささえあい協議会…地域住民の移動支援のための乗り合い車両の運営について、介護事業所と民間事業者と地域の協働による運営を検討。</p> <p>・別府町ささえあい協議会…介護事業所と地域の協働による「広域型サロン」を運営。</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	なし		
E (Dが有の場合) 目標達成状況			
F 自己評価 (○/△/×)			△
G 今後の方針	地域の課題解決に向け、NPOの活動が「新しい公共」の多様な担い手のひとつとして役割を發揮できるようマッチング支援を行う。		

第8期加古川市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況調査票(平成30年度・令和元年度実績)

担当課	高齢者・地域福祉課 介護保険課	現計画対応頁	P.68
基本目標	5 高齢者の明日を支える人づくり		
施策	(3) 介護や相談業務に携わる人への支援の充実		
計画内容	<p>【①介護に携わる人の創出、育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○サービス提供の担い手の資質の向上・確保</li> <li>○就業者のキャリアアップ支援(介護福祉士養成等)、定着化を図る事業の実施</li> <li>○介護事業所における看護師の確保に係る支援方策の検討</li> <li>○将来の介護人材確保のため、学校教育現場と連携</li> <li>○認知症介護研修等の介護事業所運営に必要な研修の独自開催</li> <li>○人員不足感の高い職種の育成・就労支援策の実施</li> <li>○介護の仕事の魅力の向上を図る取組の推進</li> <li>○介護ロボットの活用等による雇用環境改善の取組の促進</li> <li>○生活支援サービスの担い手養成研修の開催</li> <li>○各種団体の実施する人材創出・育成事業等に対する支援</li> <li>○各種団体との連携による介護人材創出のための調査・研究</li> </ul>		
A 計画内容の実施の有無			有
B (Aが有の場合) 主な活動・事業名称	<p>①生活支援サービス体制整備事業</p> <p>②介護人材育成支援助成事業</p>		
C 上記の概要	<p>①生活援助型訪問サービスの事業に従事する者や、高齢者の生活の支援を行うため必要な知識を身に付けたい者に対して、必要な技術及び知識等の習得を目的とした研修を実施。</p> <p>②介護福祉士試験受験のために実務者研修を受講した従業員の研修費用の一部を負担した法人に対して補助金を支給した。</p> <p>対象法人 4法人 受験者数 4人</p>		
D (Aが有の場合) 目標値・指標設定の有無	有(事務事業評価等における目標値・指標)		
E (Dが有の場合) 目標達成状況	<p>①日常生活支援サポーター養成講座</p> <p>【目標値】 年間研修2回実施予定</p> <p>【結果】 平成30年度 1回実施(22名修了) 令和元年度 1回実施(21名修了)</p> <p>②介護人材育成支援助成事業</p> <p>【指標】 「介護福祉士割合が最も高いサービス提供体制強化加算を取得する市内地域密着型サービス事業所数」</p> <p>【目標値】14事業所 【結果】11事業所</p>		
F 自己評価(○/△/×)			○
G 今後の方針	<p>②事業は継続する予定であるが、介護福祉士の割合を増やしていくために、ほかの施策等も検討する必要がある。</p>		